



平成20年10月22日

各位

会社名 株式会社 資生堂
代表者名 代表取締役社長 前田 新造
(コード番号4911 東証第1部)
問合せ先 IR部長 斉藤 幸博
(TEL. 03-3572-5111)

業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、平成20年7月31日の平成21年3月期(平成20年4月1日～平成21年3月31日)第1四半期業績発表時に公表した第2四半期累計期間の連結業績予想を下記のとおり修正しましたのでお知らせいたします。

記

1.平成21年3月期 第2四半期累計期間(平成20年4月1日～平成20年9月30日)連結業績予想数値の修正

(単位:百万円、%)

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益
前回発表予想(A)	360,000	28,000	30,000	16,000
今回修正予想(B)	360,000	33,500	36,000	20,000
増減額(B-A)	—	5,500	6,000	4,000
増減率	—	19.6	20.0	25.0
前年第2四半期実績 (平成20年3月期)	362,870	32,068	33,230	12,939

2.修正の理由

当第2四半期累計期間の連結業績は、売上高が概ね前回発表予想通りとなりますが、営業利益、経常利益、四半期純利益は前回発表予想を上回ると見込んでおります。この理由は、売上原価率が従来の見込みよりも低くなること、販売管理費の支出の一部を第3四半期以降にシフトさせたこと、などであります。

3.通期予想について

平成21年3月期の下半期は、世界規模での経済と消費の減速に好転の兆しが見えず、国内外において一層厳しい事業環境が予想されています。加えて、このような状況を勘案して、リレーショナルブランド(カウンセリングを通じてお客さまとの関係性を深めていくブランド群)の育成といった下半期の取り組みを一層強化すべく、上半期に支出を予定していた販売管理費の一部をシフトさせるという費用の組み換えも行っております。このため、通期の業績予想につきましては、大きな修正を行う予定はありませんが、現下の市場環境も踏まえた見直しを行ったうえで、10月30日に実施する第2四半期決算発表時に改めて開示いたします。

(注)上記の業績予想は、当社が現在入手している情報に基づき作成したものであり、実際の業績は様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。

以上